



体 育 祭



第 116 号

編 集 発 行

愛知県立大府東高等学校 P T A

令和 3 年12月15日発行

学校と社会の繋がり



P T A 会長

森 正寛

今年もいよいよ残りわずかとなって参りました。本来であれば P T A 活動として数々の報告を会員の皆様にさせて頂くところではありますが、新型コロナウイルス感染症による影響が未だ終息を迎えることができず、オーストラリア短期留学、大東祭、体育祭などの各種行事が中止や規模縮小となるなど、P T A 活動を通して生徒たちの日常を伝えることができない状況が続いてしまい心苦しく感じています。

このような状況の中で、去る八月二十五日に全国高等学校 P T A 連合大会「島根大会」が初の試みとなるオンライン開催で行われ、私もオンラインにて参加させて頂きました。「ご縁づくり」をテーマに基調講演や各種分科会が行われ、子どもたちを取り巻く今後の日本社会についての講演を視聴し、多くを学ばせて頂きました。高校の新学習指導要領では社会に開かれた学校づくりとして、学校での学びは社会に繋がっていることを伝えることを大事にして、社会の様々な人や物も学びの対象として考えていくなど、社会との繋がりを大切にしていることを知りました。本校の生徒たちにおいても、様々な価値観と出会う機会が増えることにより、この先の社会を繋げていく大人になってくれることと信じています。

工夫をして、前向きに



校長

磯村幸彦

冬のひだまりがことのほか暖かく感じる季節となりました。P T A 会員の皆様におかれましては、本校の教育活動に御理解と御協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

八月のコロナ第五波の影響で、九月当初の文化祭は実施できませんでした。代わりに時期をずらした発表やオンラインでの発表、「おおぶ映画祭」の短編映画を観る行事を行いました。体育祭は一週遅らせて半日での実施と、通常通りとはいきませんでした。工夫をして学校祭を行うことができました。また、修学旅行は、沖繩へ行きたいという生徒、先生方の思いが通じ、幸運にも十月下旬に無事実施できました。多くの学校が行き先や時期を変える中、予定通り行うことができ、温かい目で見守ってくださった保護者の方々により感謝いたします。

部活動では、陸上競技部の中津瑛斗君が、全国高校総体をはじめ、四つの全国大会に出場しました。文芸部は、まんが甲子園に二年ぶりに出場し、見事予選を突破して決勝に進出しました。コロナ禍ではありますが、生徒・職員ともに、工夫をして、前向きに楽しむ気持ちを忘れずに頑張っています。最後になりましたが、保護者の皆様にはお健やかに良い年を迎えられますよう心から祈念いたします。

P T A 活動報告

コロナ禍のため、実施予定でした文化祭の中止を受けて P T A 委員会の企画展示(模擬店)等は中止となりました。また体育祭も延期をして午前中開催となりました。文化委員によるジュース販売も中止となりました。今のところ実施できているのは、屋外で委員だけで可能な生徒指導委員会による交通指導と環境委員会による花壇の花の植え替えです。交通指導は九、十、十一月の三回、登校時間帯に行いました。花の植え替えは七月と十一月に行い、季節に合った色とりどりの花を植え付けます。西門前(三年生駐輪場前)・昇降口・校歌碑前にそれぞれ花が植え付けられ、生徒の登校時には心を落ち着かせ、その日を頑張ろうと思えるものとなっています。特にきれいな花が三年生の受験の頑張りの後押しになるとうれしいです。また P T A 役員会も感染防止に努めつつ、二回行うことができました。先行きが不透明であるものの、コロナと共にとりくむようにして P T A 活動を進められるかを保護者と学校が共に考える機会となっています。



40周年記念行事

本校は、令和四年度に40周年を迎えます。その記念行事の一つとして、チューリップの球根植え付けを行いました。来年四月にチューリップが咲き誇る中、40周年と新入生を迎えられるようにしたい、と生徒会を中心に考え、ボランティア生徒を募りました。

十一月初旬に、生徒会役員・部活動生徒約40名の協力で、事前準備を行いました。後日、生徒会役員・ボランティア生徒・部活動生徒の約80名の協力で、大府東40周年を意味する「OBH40」という花文字になるようにチューリップの球根を植付けました。グループごとに役割分担して、和気あいあいと約1600個の球根の植付けを行いました。

今回の植付けは、ボランティア生徒が多数参加し、二日間にわたりそれぞれ約一時間活動をしました。斜面の植付けは大変でしたが、参加生徒みんなが一生懸命に活動できました。この機会を通して「40周年に向けて自らも挑戦したい気持ちになった」「今から四月が楽しみ」という声が生徒からあがりました。

なお、球根は同窓会からの援助によって購入しました。ありがとうございました。



国際交流報告

総務部 柴崎 靖子

本年度も新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、姉妹校エルウッドカレッジとの行き来ができない状況でした。その中でも有志の生徒がZoomによるオンラインで、エルウッドカレッジの十二年生と交流をしました。オーストラリアの大学受験に必要な日本語の口述試験に向けて、本校の生徒が会話練習の相手をするという交流でした。二年前、本校に六週間通った三人の男子生徒も参加し、日本語を継続して学んでいることを知りました。その成長ぶりを見て、大変うれしく思いました。受け入れをして頂いたご家庭とは、いまだに連絡を取り合っているということも聞き、このような交流の形が続いていくことに本校の国際交流活動の大切な意味があると感じました。

また、本年度はミャンマーから「アジア架け橋プロジェクト」の学生、ヨンスンも受け入れました。留学中に母国でクーデターが起こるといふ苦難があり、ショックのせいで体調を崩しながらも目標を見失うことなく、留学生生活を終え、無事に帰国しました。彼女の姿から生徒たちが何かを学んでくれたのではないかと期待します。

最近、ヨンスンさんからメールが届き、友達と食事をしている写真を送ってくれました。ヤンゴンの状況は改善しているとのことですが、まだ安全とは言えず、元の生活に戻るには時間がかかりそうです。現在は、母校で英語を教えながら、大学の授業を受けているそうです。

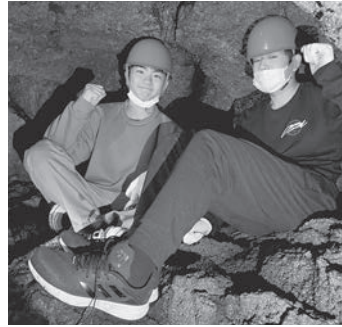
この十二月には、A F S 長期留学生在がポルトガルからやってくる予定でした。入学準備をすすめていましたが、先日、再度の入学延長の連絡が入り、来年二月以降の受け入れになります。一日も早く国を越えた若者たちの交流ができる世の中に戻ってほしいと心から願っています。

最近の日本の若者の傾向として、留学を希望する学生の減少も指摘されています。自分のコンフォートゾーンから一歩踏み出して広い世界へ出ていく勇気を、本校の生徒にも持つてほしいと期待しています。

この十年ほどの間に、『国際交流』の在り方も大きく変化していると感じます。様々な背景を持った人々と身近な生活の中で関わっていくことも交流の一つの在り方であると思います。学校や地域社会において、国際交流活動として何ができるか、生徒とともに模索していきたいと考えております。



3年 修学旅行



修学旅行の思い出

三年四組 富田 結耶

修学旅行の一日目は、お昼ご飯に山梨県の名物ほうとうを食べました。思っていたよりもボリュームがあったので、お腹いっぱいになりました。ほうとうを食べた後は、河口湖でカヌー体験をしました。天気予報が雨だったので心配でしたが、天候にも恵まれ、トレーナーの方の優しいご指導のおかげで上手く乗ることができました。そんなに長い距離を漕いでいないはずなのに、腕がかなり疲れたので驚きました。夜は美味しいピュッフェを食べ、売店で買い物をして、部屋で友達といろいろな話をして、一日目を

終えました。

二日目は、富士急ハイランドに行きました。一日目の疲れで、ホテルから富士急へのバスの中では眠たくなってしまいました。到着すると眠気は高揚感に変わりました。自分は絶叫があまり得意ではないので少し恐怖心がありましたが、班の友達が誘ってくれたおかげで、勇気を持って様々なアトラクションに乗ることができました。

三日目は、御殿場のアウトレットに行きました。友達とショッピングをしたり、美味しいものを食べたりして充実した時間を過ごすことができました。昼食に食べた釜飯は今までに食べた釜飯の中で一番美味しかったです。三日間を通して、友達と多くの思い出を作ることができ、最高に楽しい修学旅行になりました。



忘れる事のない修学旅行

三年三組 齋藤 雛利

私はこの修学旅行を通して、たくさん感謝、学び、体験をしました。

修学旅行の初日は、山梨県の郷土料理ほうとうを食べに行きました。ほうとうには、かぼちゃや白菜などの様々な野菜が入っていていろいろな味を楽しむことができました。麺が思っていたよりも太くて驚きました。その後は、河口湖でカヌー体験をしました。今までカヌーは見たことしかなく難しそうだと思っていたのですが、乗ってみると、思っていたよりも簡単に前へ進みました。しかし、方向転換がとても難しく、ペアの子と息を合わせて漕ぐことが重要だと感じました。

二日目は、富士急ハイランドに行きました。富士急ハイランドでは、高飛車やドドンパなどのいろいろな絶叫マシンに乗ったり、お土産を見たり、たくさん写真撮ったりして有意義な時間を過ごすことができました。天気予報が雨だったので心配でしたが、ほとんど降ることなく二日目を終えることができました。

修学旅行最終日は、御殿場アウトレットに行きました。みんなでショッピングをしたり、スターバックスで静岡県限定のフラペチーノを飲んだりしてすごく楽しかったです。

コロナ禍の中、行けるか分からなかった修学旅行でしたが、先生方、PTAの方々、保護者の方々のおかげで行けるようになり、本当に感謝の気持ちでいっぱい



いです。今回の修学旅行では、時間の使い方や、計画を立てることの大切さ、そして、私たちが修学旅行にいけるように多くの方々が協力してくださっていたことなど、様々なことを知ることができました。この三日間はとても楽しく、充実していて、一生の思い出になりました。



修学旅行

2年



修学旅行体験

二年五組 安藤 歓音

今回の修学旅行では、一日目に平和祈念資料館を見学したことや、平和学習講話をしていただいたことがとても印象に残っています。授業で戦争についての話を聞いたことはありましたが、実際に体験した人の話を聞くのは初めてで、戦争中はとても悲惨で、怖さも言い表せられないほど辛いことがあったということを知り、今の時代に生きている私たちが忘れることのないように語り継がれる必要があります、二度と起こしてはいけないことだと思いました。

二日目は、シーサーの絵付け体験をしました。シーサーの形づくりから難しく苦戦することが多かったのですが、完成してみると愛くるしくて、絵付けができて本当に良い体験ができました。

三日目は、最終日なので疲れが溜まってきて、移動中に寝ている生徒が多かったのが印象的です。国際通りでは、たくさん生徒が袋いっばいにお土産を買っていました。私も沖縄ならではののお菓子を買いました。この三日間、どの時間も幸せで、笑顔でいることができました。この修学旅行は忘れられない思い出です。

沖縄といえは

二年一組 西ヶ谷 高輝

沖縄といえは何を思い浮かべるでしょう。きれいな海やシーサー、ハイビスカスなどを連想する人が多いと思います。しかし、僕が真っ先に思いつくのはごはんです。本州から海で隔てられていれば、初めて食べる料理もあるだろうと、期待を胸に飛行機に乗りました。結果は、僕の思った通りでした。

一日目の昼食は、沖縄そばでした。ソーキそばと沖縄そばの違いは、麺の上にある肉がスペアリブか否かだそうです。夕食はホテルでバイキングを楽しみました。中でも存在感を放っていたのがタコライスです。タコスの具材をご飯の上に乗せた料理で、とても美味しかったです。

二日目の昼食は初めて食べるものが多い、もずくやミミガー、パイヤのキムチなどがありました。ここで事件が起きました。なんと、お腹がいっぱいでこれらを残している先生がいたんです。その先生の分も食べてしまいたいくらい美味しかったです。

三日目は国際通りに行きました。たくさんのお店が立ち並び、たくさんのお土産がありました。紅芋タルトやちんすこう、サーターアンダーギー等がいっぱいありました。どれも美味しく、充実した修学旅行になりました。

体育祭



応援が響いた体育祭

二年四組 瀬川 桃羽

今回の体育祭は新型コロナウイルスが流行してしまい、開催も難しいのではと思っていました。しかし、そんな中でも先生方はみんなが楽しめるようにと、半日でしたが企画をしてくださり、とても充実した体育祭を行うことができましたと感じます。私が特にこの体育祭で印象に残っていることは、どの学年も全員が応援中マスクをちゃんとつけて一生懸命に競技をしている仲間「頑張れ!」、「あと少しだよ。」などと声をかけていたことです。新しいクラスになり、少しずつ慣れてきたクラスメイトとより輪が深まり、良い雰囲気最後まで続いてよかったです。

今、コロナ禍により、どんな行事が少なくなってきましたが、きちんと対策を考え、それを取り入れることで、何事も成功できるんだと感じた体育祭でした。今回の体育祭が上手くいったのも先生方や全校生徒のおかげだと思っています。

ありがとうございます。
ございました。

これからもたくさんさんの思い出を作っていきますましよう。



遠足1年



天気予報とは違い、朝は雨でした。ところが、バスの乗車時間には雨は上がり、リトルワールドへの到着に合わせるように、天気は回復して晴れわたりました。これこそ「日ごろの行いのおかげ」と思わせるようなタイミングでした。

五月の実施予定であった遠足が半年延期されたことで、生徒は気心知れた仲間とグループを作ることができたようで、その仲間との遠足を楽しみにして、実際楽しんだ生徒が多かったように感じます。入学後間もない五月であれば、まだクラスメイトのことが分からず、それはその楽しみや良い緊張感や刺激はありません。しかし延期になったことで、遠足の前に「どこに行こうか」「何を食おうか」という会話が自然とクラス内で起きます。遠足の楽しさを倍増させたと感じています。当日は、数多くの他の高等学校も参加していました。そこで感じたことは、本校生徒の身だしなみの良さとマナーの良さです。普段どおりに制服を身に着け、バスのドライバーさんやリトルワールドの方々にごく自然にあいさつをし、移動も他の方の迷惑にならないようにテキパキとしていました。生徒は様々なところで食事をしたり、写真を撮ったりしていました。どこでもマナーは良かったのです。そして何より教員が向けるカメラに満面の笑みを見せる生徒が多いことが大変良かったです。帰りのバスの集合時間にも余裕をもって集合して無事に帰路に着くことができ、楽しく素晴らしい遠足となりました。

五月の実施予定であった遠足が半年延期されたことで、生徒は気心知れた仲間とグループを作ることができたようで、その仲間との遠足を楽しみにして、実際楽しんだ生徒が多かったように感じます。入学後間もない五月であれば、まだクラスメイトのことが分からず、それはその楽しみや良い緊張感や刺激はありません。しかし延期になったことで、遠足の前に「どこに行こうか」「何を食おうか」という会話が自然とクラス内で起きます。遠足の楽しさを倍増させたと感じています。当日は、数多くの他の高等学校も参加していました。そこで感じたことは、本校生徒の身だしなみの良さとマナーの良さです。普段どおりに制服を身に着け、バスのドライバーさんやリトルワールドの方々にごく自然にあいさつをし、移動も他の方の迷惑にならないようにテキパキとしていました。生徒は様々なところで食事をしたり、写真を撮ったりしていました。どこでもマナーは良かったのです。そして何より教員が向けるカメラに満面の笑みを見せる生徒が多いことが大変良かったです。帰りのバスの集合時間にも余裕をもって集合して無事に帰路に着くことができ、楽しく素晴らしい遠足となりました。



遠足3年



三年生の遠足の行き先はナガシマス パーランド・ジャズドリーム長島です。多種多様なアトラクションに乗りたり、ショッピングを楽しんだり、充実した一日になりました。全員が集合時間を守れたこと、体調不良等による欠席者がほとんどいかなかったことは、さすがは三年生。自己管理のできる生徒が多く、非常に頼もしい限りです。また、新型コロナウイルスの感染予防や、受験対策のために遠足に参加しなかった生徒の校内自習への取り組みも大変良く、最高学年としてのまとまりを感じました。



【陸上競技部】

全国高校総体出場

陸上競技部 三年 中津 瑛斗

私は、今年の七月末に福井県で行われました全国高校総体に800mで出場しました。私は、全国高校総体での入賞を目標として日々努力をしてきましたが、結果的には準決勝での敗退という残念な結果になってしまいました。レース本番では、自分の思うような走りができず、予選をぎりぎりでも通過し、準決勝では先頭の選手と5秒近く離されてしまいました。自分の弱さをとても痛感しました。私は高校から陸上競技を始め、最初は県大会で予選敗退する様な選手でしたが、常に高い目標を掲げ続けて、努力することでも成長することができました。これからも大学で陸上競技を続けるので、自分の更なる可能性を求めて、大舞台で活躍できる選手として応援される選手になれるように努力し続けたいです。応援してくださいました皆様、本当にありがとうございました。



陸上競技部顧問 岡戸 文一

中津くん自身は、コツコツと練習を継続することや自ら主体的に考えた練習を通して、その才能を開花させていきました。特にコロナ禍でチーム練習が難しい中、自主練習を行い、常にその時でできる最大限の努力をしていました。今後も陸上競技を続け、日本を代表する選手を目指すという目標もっています。高校時代の努力や経験が、その後の人生に好影響を与えることは、顧問にとっても大変うれしいことです。この伝統・成果を継続し、生徒や学校にとってより良い部活動にしていくと同時に、保護者や地域の皆様から応援される部活動に一層していきたいと考えています。

【文芸部】

文芸部は今年八月に開催された「第30回まんが甲子園」において悲願の決勝進出を果たしました。三年生小島夕葵さん、池田美羽さん、一年生浜道亜樹さん、一年生岩下小夏さんの四名で参加しました。これまでに本選には四回出場していますが、決勝に進めたのは初めての快挙で部員一同、大変喜んでいきます。コロナ禍であっても、当初は高知県で第30回記念大会が開催される予定でしたが、感染状況の悪化により大会はオンラインで行われました。本校図書館において、二日連続、一作品五時間三〇分の作画に挑みました。多くの先生方、卒業された先輩にも応援していただいていたのも心強かったです。残念ながら入賞はかない

せんでしたが、この結果に自信を持ち、来年の大会での後輩たちがさらに飛躍してくれることを期待しています。また、専門学校主催の公募イラストコンテストでも二年生浜道亜樹が入賞しました。多方面での活躍が文芸部を盛り上げてくれます。



令和3年度 後期生徒会役員紹介

- 会長 瀬川 桃羽
- 副会長 鈴木 愛奈
- 副会長 奥田 桃香
- 書記 高橋 明希
- 書記 柴田麻椰奈
- 会計 徳永 成将



令和3年度 部活動試合結果 (6月~10月)

陸上競技 (男子)	<第68回東海高校総体> 第6位 800m 中津 (1分53秒59) <第37回U20日本陸上競技選手権大会> 予選4位 800m 中津 (1分52秒72) <愛知県高校知多1年生陸上競技大会> 1位 100m, 200m 中園、走高跳 深谷 2位 800m 近藤、走幅跳 深谷 3位 200m 富樫 4位 1500m 近藤 <全国高校総体陸上競技> 予選 3位、準決勝 8位 中津 <新人体育大会知多支部大会> 学校対抗 総合1位、トラックの部 3位、フィールドの部 1位 1位 走高跳 深谷、円盤投 杉田 2位 400m 中園、5000m 上田、400mリレー 越・中園・林・米川、砲丸投 杉田 3位 1600mリレー 串田・中園・齋藤・丹羽、走高跳 酒井、やり投 山田幸 4位 200m 中園、400m 串田、800m 近藤、走高跳 成田、三段跳 酒井、ハンマー投 山田拓 5位 100m 米川、200m 米川、1500m 上田、3000mSC 村田、三段跳 越 6位 1500m 近藤、走幅跳 深谷 <新人体育大会愛知県大会> 8位 円盤投 杉田 他予選敗退 <U18陸上競技大会> 予選7位 800m 中津 (1分58秒45)	東海大会 全国総体出場 全国高校総体 21種目で 県大会出場
(女子)	<愛知県高校知多1年生陸上競技大会> 1位 砲丸投・ハンマー投 大隅 3位 砲丸投・やり投 高畑 5位 100m, 200m 佐野 <新人体育大会知多支部大会> 1位 ハンマー投 大隅 3位 砲丸投 大隅 5位 砲丸投・やり投 高畑	3種目で 県大会出場
バスケット (男子)	<知多支部高等学校夏季選手権大会> 1回戦 ○73-60 東浦、2回戦 ○60-47 半田商 ブロック決勝 ●63-86 常滑 (ブロック準優勝)	
(女子)	<知多支部高等学校夏季選手権大会> 2回戦 ●46-59 横須賀 <高校選手権大会 知多支部大会> 1回戦 ○64-22 半田、2回戦 ○62-60 大府 <高校選手権大会 愛知県大会> 1回戦 ●46-71 名東	県大会出場 県大会
ソフトテニス (女子)	<国民体育大会少年の部> 個人 山口・田下 (ベスト32) 中村・橋本 (ベスト64) <全尾張高校ソフトテニス大会> 個人 山口・田下 (ベスト32) 内藤・真野、近藤・橋本 (ベスト64) <全知多高校選手権大会> 団体 1回戦 ○2-1 半田B・常滑B、2回戦 ○3-0 半田農A、3回戦 ●1-2 東海商 (第3位) <高校新人体育大会> 団体 1回戦 ○3-0 半田農、2回戦 ●1-2 大府 決勝リーグ 1回戦 ○2-1 東海商、2回戦 ●0-3 横須賀、3回戦 ○2-1 半田、 4回戦 ○2-1 半田東 (第3位) 個人 山口・田下 (第3位) 近藤・橋本 (ベスト16)	県大会出場
卓球 (男子)	<国民体育大会 知多地区予選会> ベスト16 齋藤 4回戦 峯山、作田、大武 3回戦 古田 <知多地区選手権大会> 団体 1回戦 ○3-2 半田東、2回戦 ●1-3 東海商 シングルス 作田 (ベスト16) 齋藤、古田 (ベスト32) 3回戦 岩瀬、森、大武 ダブルス 3回戦 作田・齋藤、大武・加藤、森・岩瀬	
(女子)	<国民体育大会 知多地区予選会> ベスト8 神本 12位 近藤 3回戦 中井 <知多地区選手権大会> 団体 1回戦 ○3-0 大府、2回戦 ○3-1 半田東、準決勝 ●0-3 半田商 (第3位) シングルス 神本、岡村 (ベスト16) ダブルス 岡村・近藤 (準優勝) 神本・中井 (ベスト8)	県大会出場
弓道 (男子)	<知多支部高校選手権大会> 個人 秋岡 (第2位)	
(女子)	<知多支部高校選手権大会> 個人 大野 (第3位) <愛知県高校選抜大会 知多支部予選会> 団体戦 第3位 女子Aチーム 個人戦 第4位 大西	県大会出場
剣道 (男子)	<知多地区高校大会> 団体 1回戦 ○対常滑B、2回戦 ○対半田工、3回戦 ○対半田商A 準決勝 ○対常滑C、決勝 ●対横須賀A (準優勝) 個人 赤嶺 (ベスト8) 4回戦 坂野 3回戦 伊藤、平石	
(女子)	<知多地区高校大会> 個人 3回戦 伊藤	
バレーボール (女子)	<全日本高校選手権大会 知多支部予選会> 1回戦 ●1-2 半田東	
バドミントン (男子)	<半田市夏季高校大会> ダブルス1部 右田・向當 (ベスト8) <高校新人大会 名南・知多支部大会> 1回戦 ●1-3 名古屋南 ダブルス 3回戦 大澤・五藤、野島・加藤 シングルス 5回戦 野島 (ベスト16)	県大会出場
(女子)	<半田市夏季高校大会> ダブルス2部 大田・宇津野 (ベスト8)	
サッカー	<選手権 愛知県大会> 1回戦 ○3-1 豊明、2回戦 ○2-0 豊田北、3回戦 ●0-3 東海学園 (県ベスト16)	
吹奏楽	<愛知県吹奏楽コンクール 知多地区大会> 銀賞	
演劇	<第74回中部日本高等学校演劇大会知多地区大会> 団体演技賞、舞台技術賞	